

## 【施設概要】

### 1. 焼却施設

施設規模：30 t /16時間（15 t ×2炉）

処理方式：ストーカ式焼却炉

処理対象物：可燃ごみ、破碎処理後の破碎可燃物、資源化施設（ペットボトル・容器包装プラスチック）残渣

※焼却残渣は適正処理後に埋立処理

余熱利用：給湯、暖房、ロードヒーティング等での利用を基本とする。

余熱回収方式は水噴射方式、熱回収率は10%以上を目標

### 2. 破碎選別施設

施設規模：3.6 t /5時間

処理方式：破碎、選別、保管

処理対象物：不燃ごみ、粗大ごみ

※破碎処理後、破碎可燃物、破碎不燃物、資源物（鉄・アルミ）に選別し、破碎不燃物は埋立処理、資源物は売却（売却不可物は埋立処理）



【令和5年7月現在イメージ図】

【名寄地区衛生施設事務組合HPアドレス】

<https://eiseishisetu.jp/publics/index/90>

※上記HPは、スマートフォンからの閲覧も可能です。⇒



## まちの話題

### モミの木クリスマス会



12月9日 バスターミナル

12月9日に開催されたモミの木クリスマス会は数年ぶりにパーティ形式で行われ、〇×クイズやプレゼント交換会などの催しが行われました。

子どもたちは終始、クリスマス会を楽しんでおり、特にサンタさんのプレゼントをかけたジャンケン大会はとても盛り上がっていました。



### 交通安全・防犯町民大会



11月13日 バスターミナル

4年ぶりに、下川町交通安全・防犯町民大会が開催されました。今大会は交通安全や防犯の意識を向上させることを目的としており、交通安全功労者の表彰報告や「最近の犯罪情勢について」と題し、講話が行われました。

大会の最後には参加者代表者から大会宣言が行われ、交通安全や防犯の重要性を改めて確認しました。



## 次期一般廃棄物中間処理施設の整備について

【お問い合わせ】 税務住民課住民生活係 ☎4-2511(内線111) ☆4-251103

### 次期一般廃棄物中間処理施設の整備の概要について

#### 【現状と課題】

名寄地区一般廃棄物処理施設炭化センターは平成15年4月に供用を開始し、生ごみ類、衛生ごみ、紙くずを処理していますが、施設の老朽化により燃料代や電気代、維持管理費の負担増加が課題となっています。

このようなことから、当地域における一般廃棄物を安定的かつ安全に継続して処理をするため、次期中間処理施設の整備に向けて検討が進めてられました。

#### 【これまでの経過】

平成30年度 一般廃棄物中間処理施設整備基本方針の策定

令和元年度 一般廃棄物中間処理施設整備に係る合意

令和2年度 循環型社会形成推進地域計画の策定（環境省交付金対応）

令和3年度 一般廃棄物処理施設整備基本計画及び費用対効果分析、生活環境影響調査、旧焼却施設（清掃センター）解体実施設計

令和4年度 事業者選定発注支援、旧焼却施設解体工事

令和5年度 (仮称)名寄地区一般廃棄物中間処理施設建設工事入札執行

(仮称)名寄地区一般廃棄物中間処理施設建設工事請負契約締結議案可決

※この建設工事の概要は以下をご覧ください。

#### 【建設場所】

炭化センターに隣接して設置していた旧名寄市清掃センター跡地に整備されます。

※名寄地区衛生施設事務組合とは……名寄市、美深町、下川町、音威子府村で構成する地方自治法に基づく一部事務組合組織で、し尿やごみ処理施設の管理・運営を共同処理しています。

### 次期中間処理施設建設工事の請負契約が締結されました

令和5年9月22日に開会した令和5年第3回名寄地区衛生施設事務組合議会臨時会において、工事請負契約の締結にかかる議案が可決されました。

工事名：(仮称)名寄地区一般廃棄物中間処理施設建設工事

契約額：71億2,690万円(税込)

受注者：三機工業株式会社

工期：令和5年9月25日から令和9年3月12日まで

※令和6年9月まで詳細設計、令和6年10月工事着工、令和9年4月供用開始予定